

第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 次に掲げる事項のうち、総務大臣が海上移動業務の無線局の免許申請書を受理し、その申請の審査をする際に審査する事項に該当しないものは、次のどれか。

1. 周波数の割当てが可能であること。
2. 工事設計が電波法第3章（無線設備）に定める技術基準に適合すること。
3. その無線局の業務を遂行するに足りる財政的基礎があること。
4. 総務省令で定める無線局（放送をする無線局（電気通信業務を行うことを目的とするものを除く。）を除く。）の開設の根本的基準に合致すること。

〔2〕 単一チャネルのアナログ信号で振幅変調した両側波帯の電波の型式を表示する記号は、次のどれか。

1. A3E
2. F3E
3. F1B
4. J3E

〔3〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 無線局に備え付ける。
3. 通信室内に保管する。
4. 携帯する。

〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 総務大臣が当該無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 暗語を使用して通信を行ったとき。

〔5〕 無線局の免許人は、電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、電波法の規定によりどうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その免許人を告発する。
2. その無線局の電波の発射を停止させる。
3. その無線局の免許人にその旨を通知する。
4. 総務省令で定める手続により、総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に報告する。

〔6〕 海岸局における空電、混信、受信感度の減退等の通信状態について、電波法施行規則は、次のどれに記載しなければならないことと規定しているか。

1. 無線設備の保守管理簿
2. 無線局事項書の写し
3. 無線業務日誌
4. 無線検査簿

第一級海上特殊無線技士試験問題

法 規

- 〔7〕 無線局を運用する場合において、電波法の規定により、無線設備の設置場所は、遭難通信を行う場合を除き、次のどの書類に記載されたところによらなければならないか。
1. 免許状
 2. 免許証
 3. 無線局事項書
 4. 無線局免許申請書
- 〔8〕 無線局は、自局に対する呼出しであることが確実にない呼出しを受信したときは、どうしなければならないか、無線局運用規則の規定に照らし、正しいものを次のうちから選べ。
1. 他の無線局が応答しない場合は、直ちに応答しなければならない。
 2. 試験電波を発射して相手局に再度の呼出しを喚起しなければならない。
 3. 応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに「貴局名は、何ですか。」を使用して、直ちに応答しなければならない。
 4. その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答してはならない。
- 〔9〕 無線電話通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合、順次送信する事項のうち省略することができるのは、次のどれか。
- | | |
|-----------------|----|
| 1. 相手局の呼出名称 | 1回 |
| 2. (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| 3. (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| (3) 自局の呼出名称 | 1回 |
| 4. (1) こちらは | 1回 |
| (2) 自局の呼出名称 | 1回 |
- 〔10〕 遭難通信を行う場合を除き、その使用をできる限り短時間とし、かつ、1分以上にわたってはならない周波数の電波は、次のどれか。
1. 2,787.5 kHz の周波数の電波
 2. 27,524 kHz の周波数の電波
 3. 156.8 MHz の周波数の電波
 4. 156.525 MHz の周波数の電波
- 〔11〕 無線局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻を中央標準時又は協定世界時にどのように照合しておかなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。
1. 運用開始前
 2. 毎日1回以上
 3. 毎週1回以上
 4. 毎月1回以上
- 〔12〕 船舶局における遭難警報又は遭難呼出しの送信は、誰の命令によって行うか、無線通信規則の規定に照らし、正しいものを次のうちから選べ。
1. 船舶局を有する船舶の責任者の命令によってのみ行う。
 2. できる限り、船舶局の責任者の命令によって行う。
 3. 船舶局の責任者の命令によってのみ行う。
 4. できる限り、船舶局を有する船舶の責任者の命令によって行う。

平成21年2月期

第一級海上特殊無線技士「法規」合格基準及び正答

1 試験問題 12問

2 満点及び合格点 満点 60点 合格点 40点

配点 1問5点

3 正答

| 問題 | 正答 |
|------|----|
| [1] | 3 |
| [2] | 1 |
| [3] | 4 |
| [4] | 2 |
| [5] | 4 |
| [6] | 3 |
| [7] | 1 |
| [8] | 4 |
| [9] | 3 |
| [10] | 3 |
| [11] | 2 |
| [12] | 1 |